

施策評価(令和元年度)

1 基本項目

基本目標 3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策 1	ともにつくる住みよい地域社会の実現
施策 15	交通安全
基本方針	
交通安全施設の整備を進めるとともに、福生警察署など関係機関と連携・協力した交通安全対策を実施し、交通事故のないまちを目指します。	

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
<u>自転車利用環境の充実</u>	計画を見直し完了	A	A	B	現状のまま継続
<u>自転車運転ルールの周知とマナーの向上のための講習会の開催</u>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

<p>施策15「交通安全」では、2事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、「自転車利用環境の充実」では、前年度と合わせて延べ5回による検討委員会において検討内容が集約され、予定していた4回の検討委員会が2回で完了したことから、「計画を見直して完了」とし、他の事業については「計画どおり完了」と評価している。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>有効性(成果)では、「自転車利用環境の充実」においては、有料化の具体的な運営方法の決定までには至らなかつたことから、B(課題があり、今後改善が必要なもの)と評価している。他の1事業については、A(適切なもの)と評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「交通安全施設の整備を進めるとともに、交通安全対策を実施し、交通事故のないまちを目指す」ことであり、「自転車利用環境の充実」においては、検討委員会において検討内容が集約されたことにより、事務局において有料化に向けたより具体的な手法を検討するため、東京都(土地所有者)や、民間事業者との協議を行ったほか、「自転車運転ルールの周知とマナーの向上のための講習会の開催」では、子どもから高齢者の各世代を対象に交通安全講習会等を開催し、交通事故発生件数の減少につながるよう、交通安全に対する意識の向上、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られたものと評価する。</p>
--

1. 基本項目		作成部署	市民生活部		防災安全課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 自転車利用環境の充実		平成 29 年		継続	自治事務	直営
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	15	交通安全	管理No.	1

2. 事業の概要

施策の 基本方針	交通安全施設の整備を進めるとともに、福生警察署などの関係機関と連携・協力した交通安全対策を実施し、交通事故のないまちを目指します。
事業内容	自転車駐車場の利用環境の整備を図るため、自転車駐車場の運営に関する検討委員会を設置し、民間活力の導入を含め、有料化に向けた検討を行います。また、自転車を取り巻く環境の変化に対応するため、自転車利用などの総合的な計画の策定について検討します。
根拠法令	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律
条例	東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例

3. 実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	羽村市自転車等に関する施策検討委員会の設置 自転車駐車場の運営及び自転車利用等の総合的な運用についての協議	自転車利用等の総合的な運用・計画の策定についての検討	同左	同左
		自転車駐車場の運営についての方向性の決定及び運営準備	検討結果の反映	同左

4. 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

(1) 年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	1,320 H	1 人	1,320 H	1 人	1,320 H	1 人	1,320 H
主事・主任職	1 人	1,200 H	1 人	1,200 H	1 人	1,200 H	1 人	1,200 H

(2) 事業費

事業費の内訳 (単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	6	6	-	-
人件費(係長職)	6,344	6,344	6,344	6,344
人件費(主任・主事職)	3,786	3,786	3,786	3,786
総事業費(合計)	10,136	10,136	10,130	10,130
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	10,136	10,136	10,130	10,130
財源内訳(合計)	10,136	10,136	10,130	10,130

(3) コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円

※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	自転車利用環境の充実については、庁内の「自転車等に関する施策検討委員会」における検討を加速し、自転車駐車場の運営に係る方向性を決定し、利用者の利便性を高めるための運営準備を具現化していくこと。

②活動実績

第4回検討委員会を5/7(火)に実施、第5回検討委員会を7/22(月)に実施した。平成30年7月から、延べ5回に渡り有料化に向けた検討を行い、検討委員会として有料化の方向性が決定したため、平成30年度第1～3回及び令和元年度第4～5回の検討内容をまとめ報告を行った。 その後は、検討委員会は開催せず、事務局において有料化に向けたより具体的な手法を検討するため、東京都(土地所有者)との協議、民間事業者との協議を行った。
--

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	6	-	6	4	66.7%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	1,320 H	1人	1,320 H
主事・主任職	1人	1,200 H	1人	1,200 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○自転車利用等の総合的な運用・計画の策定についての検討 ・自転車等に関する施策検討委員会 実施4回 ○自転車駐車場の運営についての方向性の決定及び運営準備 ・施策ごとに結論がでたものを報告	⇒ ○自転車利用等の総合的な運用・計画の策定についての検討 ・自転車等に関する施策検討委員会 実施2回 ○自転車駐車場の運営についての方向性の決定及び運営準備 ・自転車駐車場の有料化について報告

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性	A
効率性	A
有効性	B

妥当性評価基準:
上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である
今の社会情勢に見合う事業である 利用者・対象者のニーズ(需要)がある
その他 ()

効率性評価基準:
最少の人件費・事業費で事務が執行されている 民間活力を活用している
業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している
その他 ()

有効性評価基準:
計画の事業量に達しなかった 計画の事業量に達した 計画以上の事業量を達成した
事業の目標が達成された 事業の効果が表れている
施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

自転車駐車場の利用環境の充実を図るために、課題である民間活力を導入した有料化について検討を行い、有料化の方向性の結論を出した。その後は事務局において東京都をはじめとする土地所有者や民間業者と協議を行っているが有料化の具体的な運営方法の決定までには至らなかった。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

自転車駐車場の運営について、有料化の方向性を決定したことから、具体的な手法について検討し、有料化の具体的な運営方法の決定に向けて取り組んでいく。

1. 基本項目		作成部署	市民生活部		防災安全課	
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 自転車運転ルールの周知とマナーの向上のための講習会の開催	平成 29 年	継続	自治事務	業務委託(一部)		
01	年					
02	年					
03	年					
04	年					
05	年					
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	15	交通安全	管理No.	2	

2. 事業の概要

施策の基本方針	交通安全施設の整備を進めるとともに、福生警察署などの関係機関と連携・協力した交通安全対策を実施し、交通事故のないまちを目指します。
事業内容	各講習会を開催し、子どもから高齢者まで、自転車運転ルールの周知とマナーの向上を呼びかけます。講習会は多くの人が集まる施設などで実施を検討します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3. 実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	街頭指導(随時実施) 自転車安全教室 (小学生を対象) 7回 交通安全教室 (中学生を対象) 1回 (女性を対象) 1回 交通安全指導 (高校生を対象) 3回 自転車安全利用講習 (高齢者を対象) 1回 自転車マナーアップ指導 (自転車利用者を対象) 2回 交通安全講習会 (市民・業者を対象) 2回	同左 同左 7回 同左 1回 同左 1回 同左 3回 同左 1回 同左 2回 同左 2回	同左 同左 7回 同左 1回 同左 1回 同左 3回 同左 1回 同左 2回 同左 2回	同左 同左 7回 同左 1回 同左 1回 同左 3回 同左 1回 同左 2回 同左 2回

4. 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	300 H	1 人	300 H	1 人	300 H	1 人	300 H
主事・主任職	1 人	200 H	1 人	200 H	1 人	200 H	1 人	200 H

②事業費

事業費の内訳 (単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	525	528	528	528
人件費(係長職)	1,442	1,442	1,442	1,442
人件費(主任・主事職)	631	631	631	631
総事業費(合計)	2,598	2,601	2,601	2,601
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	2,598	2,601	2,601	2,601
財源内訳(合計)	2,598	2,601	2,601	2,601

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

交通安全推進委員会の協力のもと、通年の街頭指導、小学校全校(7校)での自転車安全教室、羽村高等学校の生徒を対象とした交通安全指導を実施した。
羽村第三中学校で開催した交通安全教室では、対象者を中学生だけでなく、PTAや保護者、高齢者を含めた地域の住民等を対象したこと、羽村駅・小作駅で自転車マナーアップ指導の啓発活動を実施したことによって、幅広い世代に対して自転車運転ルールの周知とマナーの向上を図った。
なお、市民や業者を対象とした交通安全講習会は、秋季に1回開催(新型コロナウイルス感染拡大防止のため春季1回中止)した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	528	-	528	470	89.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	300 H	1人	300 H
主事・主任職	1人	200 H	1人	200 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> ○街頭指導(随时実施) ○自転車安全教室 (小学生を対象) 7回 ○交通安全教室 (中学生を対象) 1回 (女性を対象) 1回 ○交通安全指導 (高校生を対象) 3回 ○自転車安全利用講習 (高齢者を対象) 1回 ○自転車マナーアップ指導 (自転車利用者を対象) 2回 ○交通安全講習会 (市民・業者を対象) 2回 	<p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ○街頭指導(随时実施) ○自転車安全教室 (小学生を対象) 7回 ○交通安全教室 (中学生、PTAや保護者、高齢者等を対象) 1回 ○交通安全指導 (高校生を対象) 3回 ○自転車マナーアップ指導 (自転車利用者を対象) 2回 ○交通安全講習会 (市民・業者を対象) 1回

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()
効率法性	<input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()
有効性	<input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

各講習会を開催し、子どもから高齢者の各世代へ交通安全活動を行うことで、交通事故の防止につながるよう、交通安全に対する意識の向上を図った。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

交通安全に対する意識の向上を図り、交通事故の防止につなげよう、引き続き各講習会等の充実に向けて取り組んでいく。